

守山まるごと活性化 議事要旨

会議名: 平成30年度 第2回守山学区まるごと活性化プランAプロジェクト会議

日時: 平成30年5月19日(土)午後3時30分から

場所: 守山会館2階 図書室

出席者: 井上代表、和田副代表、竹村、田中、高山、杉本

出席者(行政): 市民協働課 川尻係長、守山会館 田中館長、臼井

使用資料: 自治会ハンドブック(案)、過去実施分のわがまちミーティング関係資料

議題	1. 自治会ハンドブックについて 2. 平成30年度の取組について 3. 来年度以降の取組について
会議要旨	
内容	
1. 自治会ハンドブックについて ○内容の確認 【意見等】 ・「もらう」「貰う」の表記を統一する。 ・表中の項目は中央ぞろえにする。また、読みやすいよう改行の場所を工夫する。 ・イラストは著作権の問題のないものに差し替える。 ※その他、各委員で確認し、修正点を5/25までに事務局へ連絡する。 ○その他 ・学区内の自治会には印刷したものを配付し、その他は問い合わせがあれば対応または、HPに掲載してそこからダウンロードしてもらう。 ・印刷方法は外注せず自前で行う。用紙、背表紙等詳細な方法については事務局にて検討する。 ・改定する際は、今後行われるわがまちミーティングの結果を追加してはどうか。 ・別件になるが、自治会の広報等でインターネットからイラストを引用する際に、著作権関係の注意点について教えてほしい。 ・記者提供も行う ・完成したら代表から市長へ手渡しし、趣旨も説明する。 ○次回会議にて最終確認し、その後すぐに印刷に取り掛かり、印刷出来次第配布する。	
2. 平成30年度の取組について ・わがまちミーティングを今年度も開催する。ただし、予算の関係で、これまでと同じやり方では難しいので経費削減の検討が必要ある。	
(裏面に続く)	
決定事項	・ハンドブックは次回に最終確認し印刷する。 ・わがまちミーティングは今年度も開催する。 ・来年度以降も本プロジェクトは継続する。 ・次回 平成30年6月30日(土)午前10時から
次回以降について	・自治会ハンドブックについて、今年度の取組について

会議要旨

内容

【意見等】

- ・「次回もぜひ参加したい」「継続してほしい」との声が多かったので、無作為抽出ではなく、過去3回の参加者を集めて行う。
- ・参加経験者なら、これまでの議論をさらに深めることができる。
- ・これまでのわがまちミーティングの取りまとめを当日の資料に入れておけばおさらいができる。
- ・龍谷大学の只友先生にも協力を仰ぐ。

3. 来年度以降の取組について

・市より、今年度で5年の節目を迎えるため、来年度以降どうするかについて各学区で考えてほしいと依頼があったため、本プロジェクトの意向をまとめる必要がある。

【意見】

- ・わがまちミーティングは、自治会の担い手を育てる取り組みである。繰り返し行うことで徐々に効果が出るので、今後も継続して行いたい。
 - ・ハンドブックの3章に記載した課題の解決を実現したい。場合によってはプロジェクト会議に市の担当課に来てもらいたい。
 - ・プロジェクト会議は他の自治会のことを知る貴重な機会なので、2～3か月に1回でもよいので、継続したい。
 - ・本プロジェクトの取組はある意味では義務である。半永久的に取り組んでいかないと自治会は崩壊する。楽しみながらでよいので継続してやっていくべきである。
 - ・参加メンバーは固定する必要はない。
 - ・継続するならば、「なぜ自治会が必要なのか」という究極の問への答えを見つけない。
- ⇒「来年度以降も継続する」ということで本プロジェクトの総意とする。